

講義科目 : 心理学研究法	単位数 : 2
担当 : 高橋 彩	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

直接に目には見えないところの働きを明らかにするため、心理学には様々な研究方法がある。この演習では質問紙調査法、観察法、面接調査法の手法と、その分析方法を学ぶ。

到達目標

- ①心理学を研究する具体的な方法について理解し、その手続きと特徴について説明できる。
- ②心理学の実験を通して、科学としての心理学についての理解を深める。

授業計画

- 第1回 心理学の研究とは 要因と水準
- 第2回 心理学における統計の考え方 実験計画の立て方
- 第3回 質問紙調査 尺度項目の作成
- 第4回 質問紙の作成と実施
- 第5回 データ分析 (データ入力)
- 第6回 データ分析 (項目のG-P分析)
- 第7回 質問紙法レポート作成
- 第8回 面接調査法 面接調査の実施
- 第9回 自由記述の分類
- 第10回 データ分析 (カイ二乗検定) 面接法のレポート
- 第11回 観察法 自由記述法による予備観察 操作的定義
- 第12回 観察法 タイムサンプリング法の実施
- 第13回 観察データの分析 (評定者間一致度)
- 第14回 観察法レポート作成
- 第15回 心理学における研究法のまとめ

教材・テキスト・参考文献等

テキストは使用しない。課題ごとに資料を配布する。

成績評価方法

授業内の課題の取り組み (50%) と、レポートの内容 (50%) によって評価する。定期試験は行わない。